

第59期 第2四半期

株主通信

2022年4月1日から2022年9月30日まで



証券コード 9686



人・街・未来をまもる

東洋テック株式会社

株主の皆さまへ



代表取締役会長
田中 卓

代表取締役社長
池田博之

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

ここに当社の第59期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)第2四半期の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

営業の概況

当社グループは、今年度を初年度とする第12次中期経営計画(2022年4月から2025年3月まで)において「社会的要請に応え、成長・発展し続ける企業グループ」を目指す姿と位置付け、「構造改革への挑戦」をスローガンに、「環境変化をふまえた事業構造改革への挑戦」、「サステナビリティ経営の徹底」を行っております。

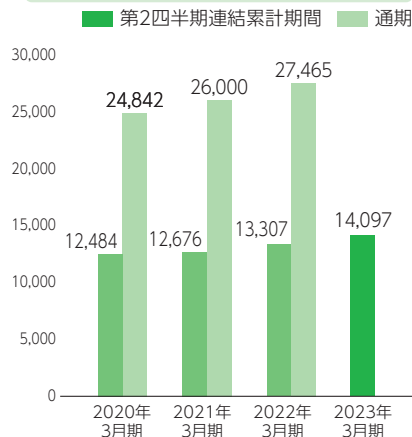
当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は次の通りであります。

Contents

株主の皆さまへ	1
業務の概要	4
セグメント情報	5
連結財務諸表の概要	7
商品・サービス	9
株式の状況	13
会社の概況	14

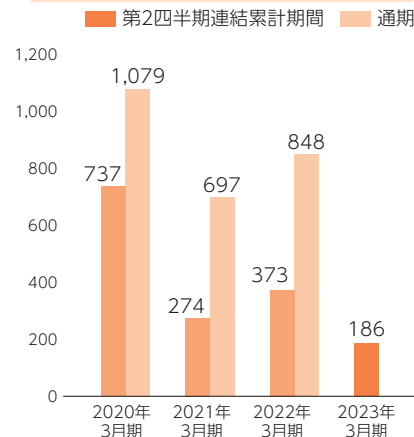
売上高の推移

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)





売上高は、警備事業が引続き堅調に推移し、また五大テック株式会社のグループ入りに伴う影響が当第2四半期連結会計期間より生じたことから、14,097百万円と前年同四半期と比べ789百万円の増収(5.9%増)となりました。第2四半期連結累計期間対比では12期連続の増収となっております。

利益面においては、子会社4社統合やM&Aに係る一時的な経費増加があったものの、ビル管理事業各社の業績も改善傾向となりました。以上のことから第1四半期の一時的な営業赤字を脱し、営業利益は186百万円と前年同四半期と比べ187百万円の減益(50.1%減)、経常利益は276百万円と前年同四半期と比べ135百万円の減益(32.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は277百万円と前年同四半期と比べ62百万円の増益(29.0%増)となりました。

課題への取り組み

第12次中期経営計画《2022年4月1日～2025年3月31日》の第59期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)第2四半期末現在における進捗状況は以下の通りです。

●中期経営計画進捗状況

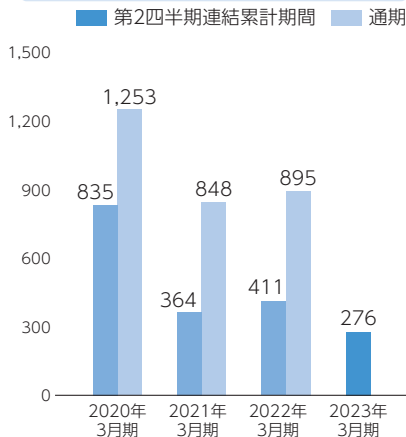
	2025年3月期 計画	2023年3月期 第2四半期
		実績
連結売上高	350億円	140.9億円
連結営業利益	17.5億円	1.8億円
連結経常利益	19.0億円	2.7億円
戦略投資額	計画期間中 総額70億円	計画期間中 累計11.6億円
配当方針	配当性向 50%を目標に 安定配当	中間15.00円 (予想)期末15.00円 (予想)年間30.00円

(注) 2023年3月期第2四半期実績は、小数点第2位を切捨てしています。

当期の中間配当は、1株につき15.00円とさせていただきます。

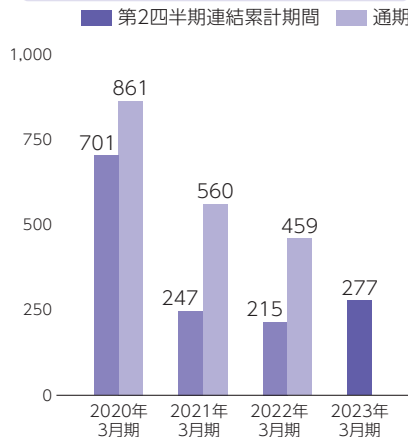
経常利益の推移

(百万円)



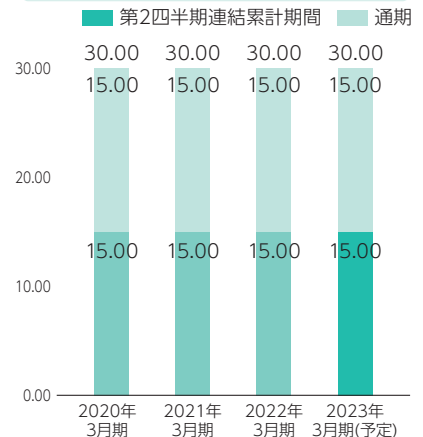
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益の推移

(百万円)



配当金の推移

(円)



2022年度におけるこれ迄の主な取り組みについて、以下の通りご紹介します。

●警備事業の強化

大阪市に本社を置く、常駐警備業務主体の警備会社を、M&Aにて100%子会社化いたしました。

大手企業本社等の常駐警備を受託しており、質の高い警備サービスを保有していることから、今後の国際イベント等への活用も見込んでいます。

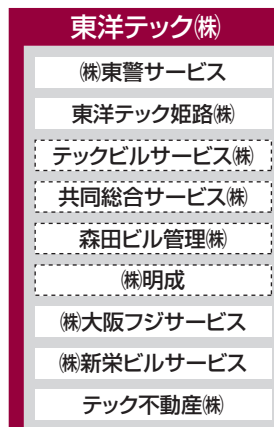


●ビル管理事業の強化

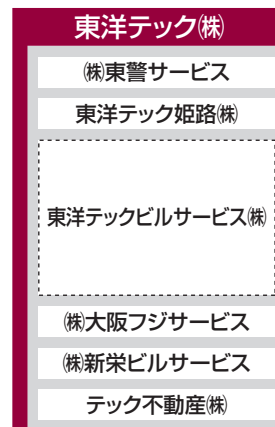
2022年4月1日付でビル管理事業の強化を目的として子会社4社を統合いたしました。

人的資源の集約、各社固有の強みを融合することで、付加価値の高いサービスの提供による業績拡大、及び規模拡大に伴う対外的信用力の向上により受託力の強化を行います。

～2022年3月(10社)

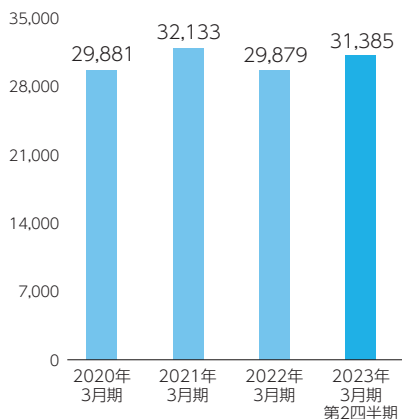


2022年4月～(7社)



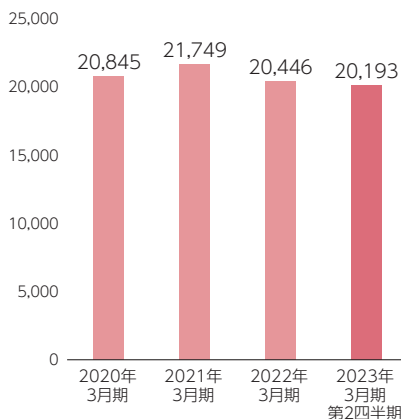
総資産の推移

(百万円)



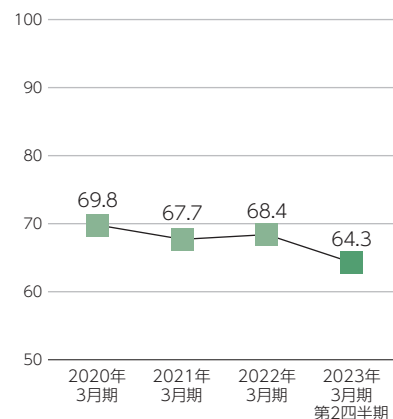
純資産の推移

(百万円)



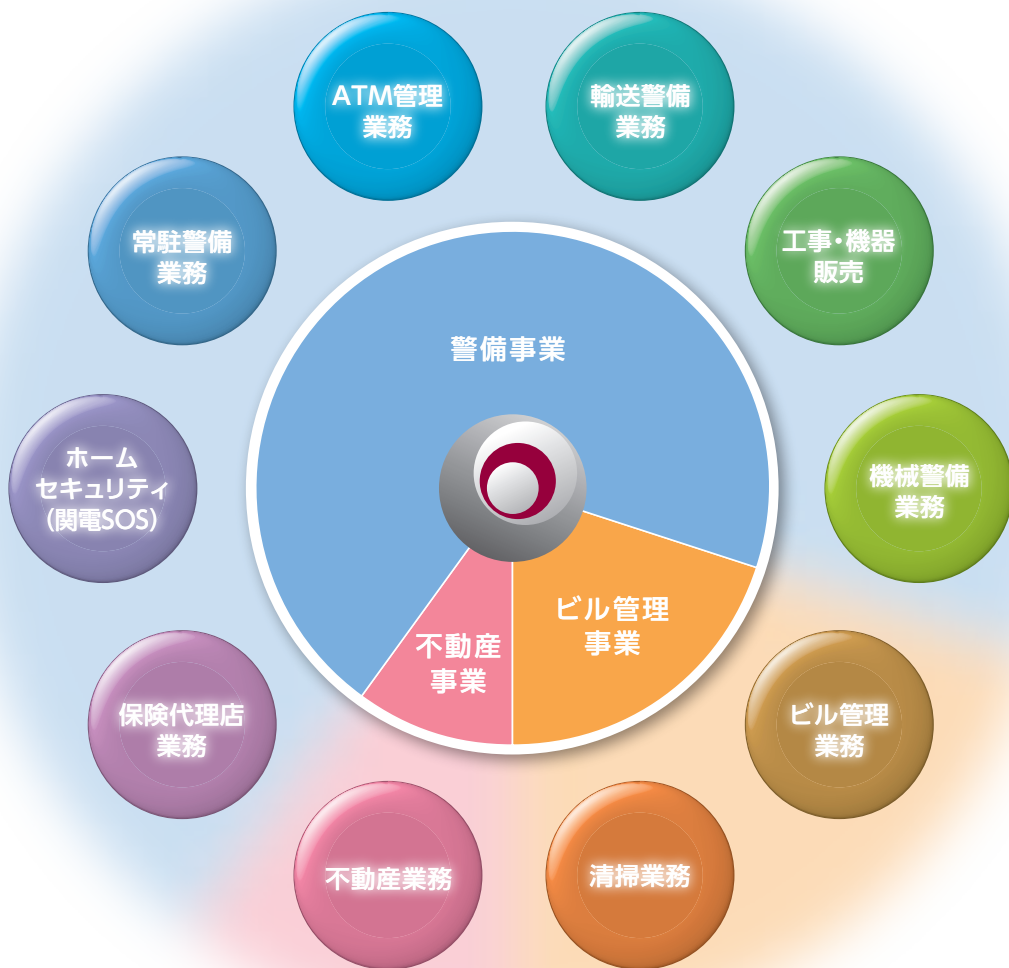
自己資本比率の推移

(%)





「安心・安全」のための幅広いサービスを展開。

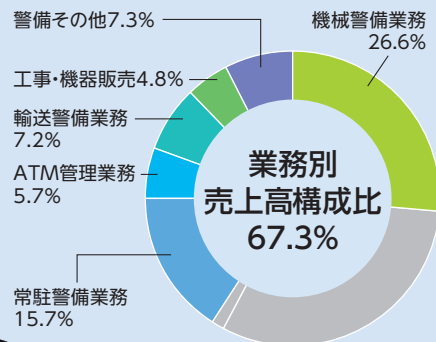




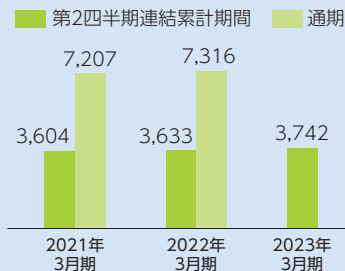
警備事業



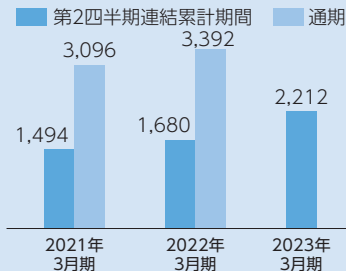
機械警備・常駐警備が堅調に推移し、また五大テック株式会社の連結損益におけるグループ入りもあったことから、売上高(セグメント間の内部売上高又は振替高は除く)は、9,488百万円と前年同四半期と比べ747百万円の増収(8.6%増)、セグメント利益は122百万円と前年同四半期と比べ13百万円の増益(12.5%増)となりました。



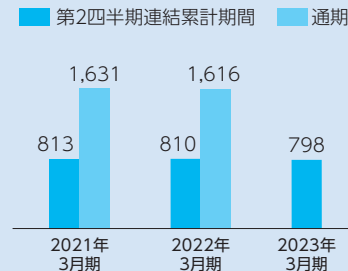
■ 機械警備業務 (単位:百万円)



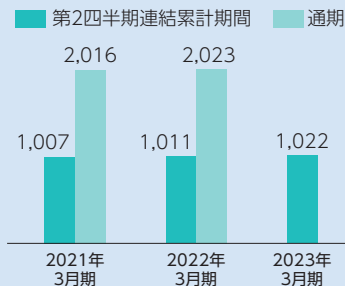
■ 常駐警備業務 (単位:百万円)



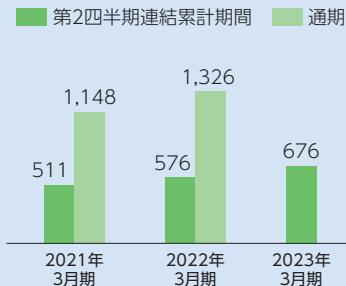
■ ATM管理業務 (単位:百万円)



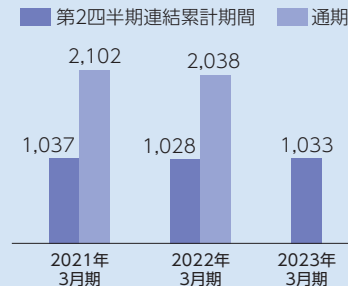
■ 輸送警備業務 (単位:百万円)



■ 工事・機器販売 (単位:百万円)



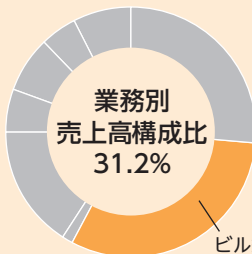
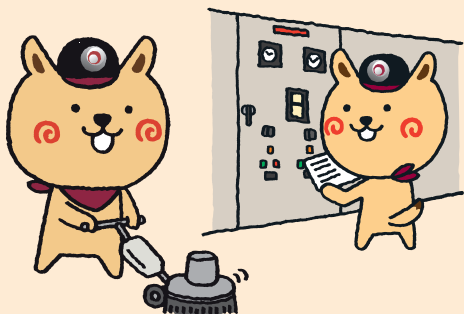
■ 警備その他 (単位:百万円)



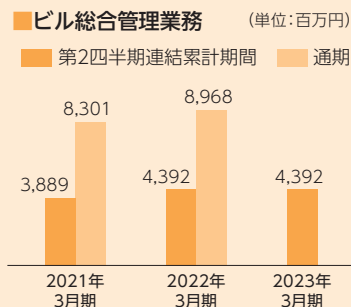


ビル管理 事業

第1四半期の子会社4社統合による一時的な経費増加があったものの、ビル管理事業各社の業績は改善傾向となり、売上高(セグメント間の内部売上高又は振替高は除く)は、4,392百万円と前年同四半期と比べ同水準となりました。セグメント利益は、4社統合による一時的な経費増加や最低賃金の引き上げに伴う費用負担の増加により△42百万円と前年同四半期と比べ212百万円の減益となりました。

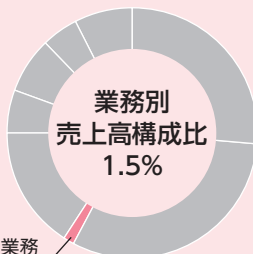
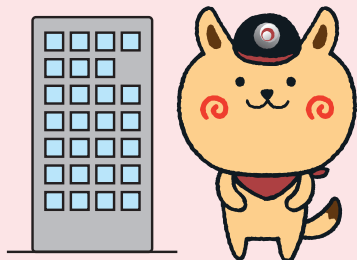


ビル総合管理業務
31.2%

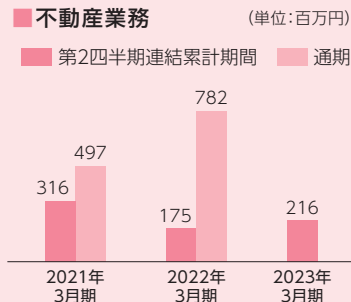


不動産事業

不動産賃貸収入は堅調に推移し、また不動産仲介案件の成約もあったことから、売上高(セグメント間の内部売上高又は振替高は除く)は、216百万円と前年同四半期と比べ41百万円の増収(23.5%増)となりました。セグメント利益は、96百万円と前年同四半期と比べ36百万円の増益(60.3%増)となりました。



不動産業務
1.5%



連結財務諸表の概要

Point

流動資産

流動資産は、14,796百万円となり、前連結会計年度末に比べ721百万円増加しました。

その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が131百万円、販売用不動産が870百万円、その他(前払費用、未収入金等)が159百万円それぞれ増加し、また一方で、ATM管理業務に係る受託現預金が462百万円減少したことによるものです。

Point

固定資産

固定資産は、16,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ784百万円増加しました。

その主な要因は、有形固定資産が153百万円、無形固定資産が463百万円(のれん513百万円他)、投資その他の資産が168百万円それぞれ増加したことによるものです。

Point

流動負債

流動負債は、6,430百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,616百万円増加しました。

その主な要因は、短期借入金が1,720百万円増加し、また一方で、買掛金が101百万円、その他(未払金等)が74百万円それぞれ減少したことによるものです。

Point

固定負債

固定負債は、4,761百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円増加しました。

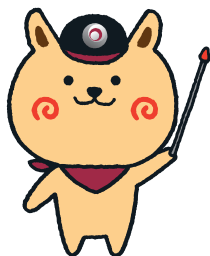
その主な要因は、退職給付に係る負債が256百万円増加し、また一方で、長期借入金が138百万円減少したことによるものです。

Point

純資産合計

純資産合計は、20,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ252百万円減少しました。

自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.1ポイント減の64.3%となりました。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)	前連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産	14,796	14,074
固定資産	16,589	15,804
有形固定資産	11,623	11,469
無形固定資産	1,166	703
投資その他の資産	3,799	3,631
資産合計	31,385	29,879
負債の部		
流動負債	6,430	4,814
固定負債	4,761	4,618
負債合計	11,192	9,432
純資産の部		
株主資本	20,724	20,957
資本金	4,618	4,618
資本剰余金	8,531	8,527
利益剰余金	8,660	8,542
自己株式	△1,085	△730
その他の包括利益累計額	△530	△511
その他有価証券評価差額金	835	858
土地再評価差額金	△1,362	△1,362
退職給付に係る調整累計額	△4	△7
純資産合計	20,193	20,446
負債純資産合計	31,385	29,879

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	14,097	13,307
売上原価	11,439	10,682
売上総利益	2,657	2,625
販売費及び一般管理費	2,470	2,251
営業利益	186	373
営業外収益	124	99
営業外費用	35	61
経常利益	276	411
特別利益	148	16
特別損失	50	58
税金等調整前四半期純利益	374	369
法人税、住民税及び事業税	130	175
法人税等調整額	△33	△20
法人税等合計	96	154
四半期純利益	277	215
親会社株主に帰属する四半期純利益	277	215

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△121	577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△992	△1,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,030	613
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△83	△403
現金及び現金同等物の期首残高	5,490	5,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,406	4,980

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

売上高

売上高は、警備事業が引き続き堅調に推移し、また五大テック株式会社のグループ入りに伴う影響が当第2四半期連結会計期間より生じたことから、14,097百万円と前年同四半期と比べ789百万円の増収(5.9%増)となりました。第2四半期連結累計期間対比では12期連続の増収となっております。

Point

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

利益面においては、子会社4社統合やM&Aに係る一時的な経費増加があったものの、ビル管理事業各社の業績も改善傾向となりました。以上のことから第1四半期の一時的な営業赤字を脱し、営業利益は186百万円と前年同四半期と比べ187百万円の減益(50.1%減)、経常利益は276百万円と前年同四半期と比べ135百万円の減益(32.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は277百万円と前年同四半期と比べ62百万円の増益(29.0%増)となりました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は121百万円であります。

その主な内容は、税金等調整前四半期純利益374百万円、減価償却費493百万円、受託現預金の減少499百万円等により増加し、また一方で、販売用不動産の増加870百万円、投資有価証券売却益148百万円、仕入債務の減少101百万円、法人税等の支払額191百万円等の減少があったことによるものです。

前第2四半期連結累計期間の577百万円の資金収入に対し、当第2四半期連結累計期間の資金収入は699百万円減少しました。

Point

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は992百万円であります。

その主な内容は、投資有価証券の売却による収入148百万円により増加し、また一方で、有形固定資産の取得による支出605百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出490百万円等の減少があったことによるものです。

前第2四半期連結累計期間は1,595百万円の資金支出に対して、当第2四半期連結累計期間は603百万円の支出の減少となりました。

Point

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は1,030百万円であります。

その主な内容は、配当金の支払額159百万円、自己株式の取得による支出413百万円等により減少し、また一方で、短期借入金の純増1,720百万円の増加があったことによるものです。

前第2四半期連結累計期間は613百万円の資金収入に対して、当第2四半期連結累計期間は416百万円の資金の増加となりました。

東洋テックは、変革に挑戦し
時代とともに成長します。



ハイブリッド型警備

人と機械のハイブリットによる低コストで
効果的な「警備」をご提案いたします。

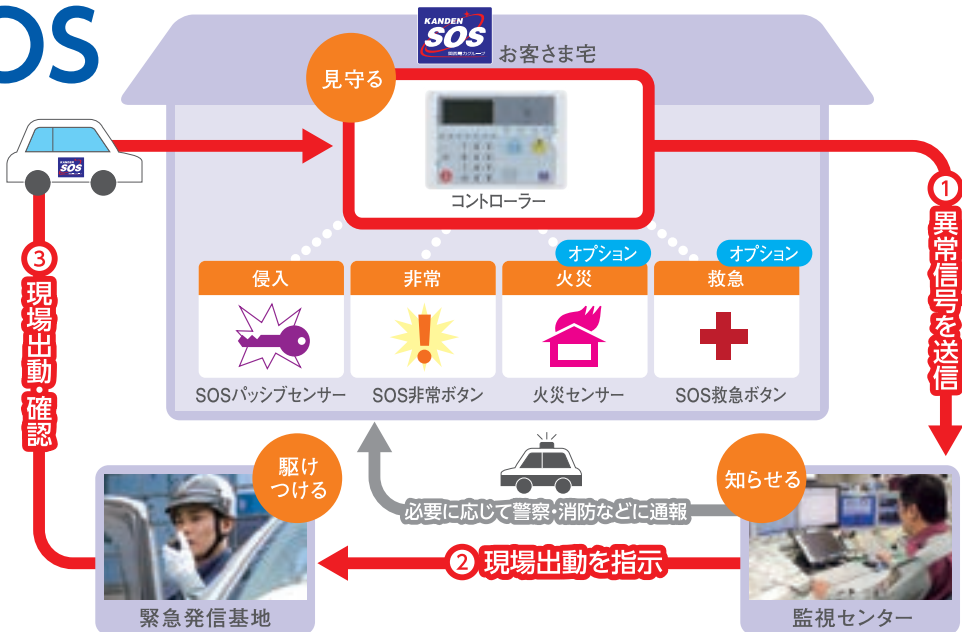


関西電力グループとのホームセキュリティ共同事業

関電SOS

暮らしを 防犯のプロが 守ります。

ご自宅への侵入・火災など、「もしも」の事態が起こったときは、お客様宅に設置したセンサーが異常を検知し、監視センターへ異常信号を送信。お住まいの近くにいるパトロール員が緊急出動し、状況を確認します。必要に応じて警察や消防などにも通報する万全の体制で24時間・365日暮らしの安心をお届けします。



関電ガス

電気とセットで ガスもおトクに！

関電ガスに切り替えても、引き続き安心してガスをご利用いただけます。



現在のガス小売事業者への解約申込は不要

関電ガスに変更する場合、関西電力から現在のガス小売事業者に連絡するため、お客様から現在のガス小売事業者への解約申込は不要です。

メーターの取替えなし

ご契約の切り替えだけのため、メーターの取替えは原則不要！

関西電力と大阪ガスが連携して対応

万が一ガス漏れが発生しても関西電力と大阪ガスが連携して対応するため、安全性はこれまでと変わりありません。

使用量、料金をWEBで確認

はぴeみる電で、電気・ガス料金、使用量をWEBから確認ができます。電気・ガス料金が確定したらそれぞれメールでお知らせします。

— みまもりお —

mimamori・O ご家族の見守りサービス

日常的に使用する冷蔵庫などの扉にセンサーを取り付け、扉の開閉を検知すると、見守る方にメールが届くシンプルな仕組みです。見守られる方も見られていると意識せず、お過ごしいただけるお互いに優しいシステムです。

サービスのイメージ



- 1 普段通りに生活していただくだけで、特別な操作は不要です。
- 2 扉の開閉状況が自動的にクラウドへ送信されます。
- 3 見守る方にレポートがメールが届きますので、必要に応じて対応します。
- 4 不安な場合は、東洋テックへ連絡すれば有償で駆けつけします。
- 5 現地へパトロール隊員が駆け付け、依頼者へ結果を報告します。

※駆けつけ業務において、機械警備業務にあたる行為は行いません。
 ※隊員は入居者の在宅確認、声掛け、状況の確認を行います。
 ※駆けつけには、必ず鍵預かりが必要です。
 ※介助業務は行いません。

使用するセンサー



サイズ:縦10cm × 横3cm

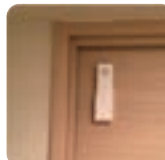
センサーには信号を送信する機能が内蔵されていますので、コントローラーや電話回線などの設備は必要ありません。

最大5名の方にメールを送ることができます。

センサーの設置例



冷蔵庫の例



扉の例

センサーのケースには磁石があり、冷蔵庫などの扉にそのまま取り付けることができます。

磁石で取り付けられない場合、両面テープで固定します。



TEC-SMART

セキュリティを検討しているが、何が必要なのかさっぱりわからない…。というお客様向け、**充実したサービスをパッケージ**でご提案いたします。

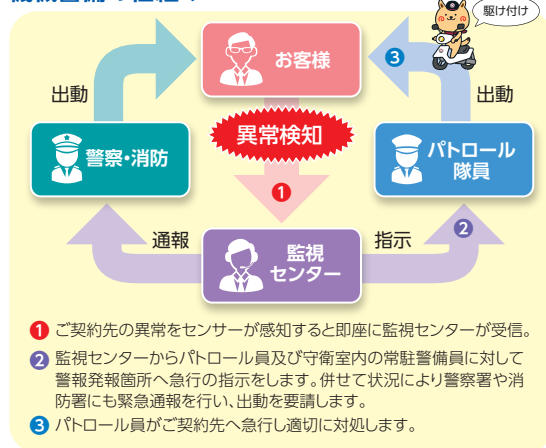
操作も**スマホで簡単**。

難しい操作は必要ありません。

アプリを起動し、ワンアクション!帰宅途中に思い出しても、その場で操作が完了できます!



機械警備の仕組み



標準パックの内容

コントローラー		警報信号を発信する通信装置でセキュリティの中心的な装置です。 1 台
パッシブセンサー		人から発する熱を感知するためのセンサーです。 4 台
マグネットセンサー		窓や扉に取り付けて開閉を検知するためのセンサーです。 5 個

※ その他、電源装置が1台付属されます。

※ 火災受信盤などの警報の24時間監視も可能です。

おすすめオプションサービス

- HD画質、1秒30フレームの高機能録画。
- 取付にはお客様のWi-Fi環境が必要です。
- スマホ、PCからいつでも閲覧可。
- 過去の映像もスムーズに再生。



クラウドカメラ

更に! カメラを使って、お店の**混雑状況**や**レジ前の行列**など人流の分析が**低コスト**できます。

- エリア内の人数を把握。
- 時間帯別にグラフ化。
- グラフと映像を連動。
- 混雑状況をスマホなどに通知が可能。
- 最大180日のデータと画像を保存。



①

スマートフォンから
いつでもどこでも操作が簡単

②

充実の内容で価格を
抑えました

③

オプションのクラウドカメラで
サービスを更に充実

株式の状況 (2022年9月30日現在)

株式数

発行可能株式総数	20,800,000株
発行済株式総数	11,440,000株
自己株式数	1,191,616株
一単元の株式数	100株

株主数

株主総数	1,584名
単元株主数	1,352名

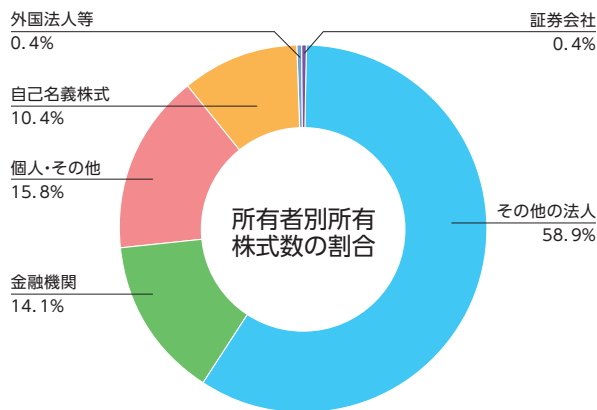
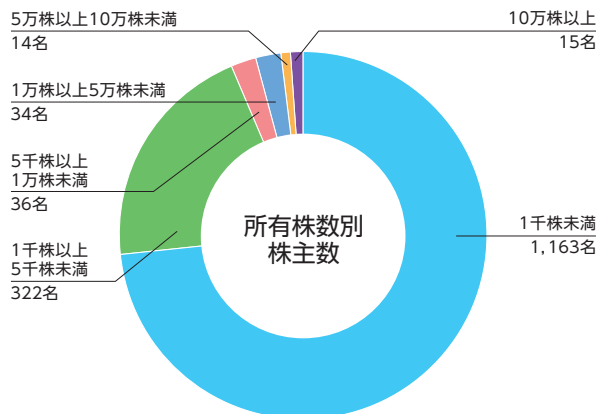
大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
セコム株式会社	2,914,100	28.4
関西電力株式会社	1,535,900	15.0
株式会社ディー・ケイ	455,000	4.4
株式会社日本カस्टディ銀行 (りそな銀行再信託分・株式会社 関西みらい銀行退職給付信託口)	451,090	4.4
株式会社りそな銀行	400,000	3.9
東洋テック従業員持株会	350,549	3.4
AIG損害保険株式会社	335,210	3.3
株式会社ユニテックス	263,000	2.6
セントラル警備保障株式会社	241,700	2.4
株式会社三井住友銀行	204,980	2.0

注1. 当社は、自己株式1,191,616株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

注2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。また、小数点2位を四捨五入して表示しております。

株式分布状況



※小数点第2位を四捨五入して表示しております。

会社の概況



会社概要

2022年9月30日現在

社 名 東洋テック株式会社
 英 文 社 名 TOYO TEC CO.,LTD.
 本 社 所 在 地 大阪市浪速区桜川1丁目7番18号
 〒556-0022 TEL (06)6563-2111 (代表)
 資 本 金 46億1,800万円
 従 業 員 数 1,967名(連結)1,087名(単体)
 上記の他、臨時従業員が1,885名(連結)おります。

本社・支社・グループ会社

2022年9月30日現在

近畿地方

兵庫県

- ・神戸支社
- ・東洋テック姫路株式会社
- ・株式会社新栄ビルサービス

大阪府

- ・本社
- ・本社営業部
- ・大阪南支社
- ・大阪北支社
- ・大阪東支社
- ・株式会社東警サービス
- ・東洋テックビルサービス株式会社
- ・株式会社大阪フジサービス
- ・テック不動産株式会社
- ・株式会社新栄ビルサービス大阪支店
- ・五大テック株式会社

京都府

- ・京都支社

滋賀県

- ・滋賀出張所

奈良県

- ・奈良支社
- ・東洋テックビルサービス株式会社奈良支社

関東地方

東京都

- ・東京支社
- ・東洋テックビルサービス株式会社東京支社
- ・五大テック株式会社東京支社

中部地方

愛知県

- ・名古屋支社
- ・東洋テックビルサービス株式会社名古屋支社
- ・五大テック株式会社名古屋支社

役員

2022年9月30日現在

会長(代表取締役)	田 中	卓
社長(代表取締役)	池 田	博之
取締役常務執行役員	佐 藤	洋誓
取締役常務執行役員	岩 城	勝広
取 締 役	諸 島	伸治
取 締 役	稲 田	浩二
取 締 役	中 川	正浩
取 締 役	栗 原	達司
取 締 役	福 岡	規行
常 勤 監 査 役	藤 田	正博
監 査 役	尼 木	始弘
監 査 役	辻 田	康一
監 査 役	浜 田	誠一郎

執行役員

常務執行役員	齐 藤	達 郎
常務執行役員	志 村	真 一
常務執行役員	村 上	義 夫
執行役員	百 田	誠 太
執行役員	中 川	太 誉
執行役員	岡 本	網 一 郎
執行役員	藤 本	章 人
執行役員	高 見	直 仁
執行役員	入 浦	清 朗
執行役員	原 野	佳 敬
執行役員	小 塚	慎 也
執行役員	富 永	嘉 昭
執行役員	芝 山	

注1.取締役、諸島伸治、稲田浩二、中川正浩、栗原達司、福岡規行の各氏は社外取締役であります。

2.監査役 藤田正博、尼木始、辻康弘の各氏は社外監査役であります。

株主メモ（株式のご案内）

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
<https://www.toyo-tec.co.jp/>
やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載することといたします。

上場金融商品取引所 東京証券取引所スタンダード市場

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先） 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先） ☎ (0120)782-031
受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)

（インターネットホームページURL）
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

証券コード 9686

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

 **東洋テック株式会社**

電話 06(6563)2111(代表)

ご照会先／東洋テック株式会社 コーポレートガバナンス部
〒556-0022 大阪市浪速区桜川1丁目7番18号



**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



東洋テックホームページ

東洋テック

検索

URL <https://www.toyo-tec.co.jp/>

警備とビルメンテナンスは
おまかせください。



〔名前〕てくまる(小型犬)
〔名前の由来〕TECの〇(輪)